

本学の先生方が
執筆された新刊情報をお届け！

RECOMMEND BOOKS

2025 SPRING

RECOMMEND 03

井上 靖代(経営学科教授)分担執筆
『図書館概論 六訂版
JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 1』
日本図書館協会 2024年12月
21,000円



図書館という社会機関の意義や在り方、制度と活動の現状と課題をまとめた図書館概論のテキスト。図書館の理念、図書館法規と行政・施策、公共図書館や学校図書館など各図書館の制度と機能等について解説します。

RECOMMEND 07

高安 健一(経済学科教授)著
『獨協大生と草加市障害福祉サービス事業所つばさの森 マドレーヌが紡ぐ地域貢献の記録』
風詠社 2025年3月 1300円



学生が展開したPBL(プロジェクト型課題解決学習)の事例により、大学と地域社会との関係性について考える。

RECOMMEND 11

常石 史子(ドイツ語学科准教授)分担執筆
『映像アーカイブ・スタディーズ』
法政大学出版局 2025年1月
5300円



映画が誕生して1世紀以上経つが、その保存のしくみは国によって大きく異なり、ロシアのように納品義務がある国もあれば、個人の収集が先行した日本、まったく法整備のない国までさまざまです。本書は国内外の映画だけでなく、テレビ番組やホームビデオ、ネット配信、ブルーフィルムに至るまで、アーカイブの現状と課題を考究した国際的共同研究です。

RECOMMEND 15

渡部 奈々(言語文化学科非常勤講師)分担執筆
『ラテンアメリカのLGBT権利保障に関する6か国の比較研究』
明石書店 2024年12月 5400円



ラテンアメリカ諸国はLGBT権利保障の「先進地域」ですが、日本では紹介されることも少ない。本書はラテンアメリカのLGBTの学術書として、同地域のLGBTの権利をめぐる力学を明らかにし、国内の学術研究・社会的議論に資することを目的としています。

RECOMMEND 04

浦部 浩之(言語文化学科教授)、作内 由子(総合政策学科教授)分担執筆
『比較政治学事典』
丸善出版 2025年1月 26000円



政治学を構成する下位分野の一つである比較政治学。国内政治を主な分析対象とし、実在するデータを用いて、ある国の固有性理解ではなく地域や時代を跨いで存在する政治現象の因果関係を説明することに特徴がある。浦部教授は「SDGsと政治」、作内准教授は「西欧のコーポラティズム」について解説しています。

RECOMMEND 08

榊原 嘉明(法律学科教授)分担執筆
『労働契約法論』
成文堂 2024年10月 12000円



労働契約をキー概念として、労働契約法の規制事項と内容とを整理・検討。労働契約法と労働関係諸法令との相互関係を考察し、労働立法上の意義等を探り、果たすべき役割、課題を明らかにします。

RECOMMEND 12

神馬 幸一(法律学科教授)分担執筆
『甲斐克則先生古稀祝賀論文集[下巻]—医事法学の新たな挑戦—』
成文堂 2024年10月 20000円



刑事法・医事法を専門とする法学者であり、広島大学名誉教授、早稲田大学大学院法務研究科教授(同研究科長・早稲田大学理事を歴任)である甲斐克則先生の古稀を祝賀した論文集。医事法学をテーマにした論文をまとめた1冊。

RECOMMEND 16

平田 彩奈恵(言語文化学科准教授)著
『源氏物語と「うた」の文脈—連想と変容—』
新泉社 2024年12月 9800円



和歌を背景とすることによって物語はいかに彩られるのか。網目状に絡みあう歌ことばの連想性に着目すると、源氏物語に流れる複層的な文脈がみえてきます。「歌ことば」の語彙をめぐる綿密な追究を行う第一部。そして、田辺聖子や宝塚歌劇の世界にまで及ぶ後世への影響をたどる第二部へと展開します。

RECOMMEND 01

マティアス・ビティヒ(ドイツ語学科准教授)共編著
『東大入試のドイツ語』
一粒書房 2024年11月 2273円



本書は東京大学入学選抜(一般選抜)第2次学力試験前期日程のドイツ語過去問(2007年～2024年)に解答例を付した一冊です。その内容から、大学院受験でドイツ語が必要な方や独検(ドイツ語技能検定試験)の受検者などにも有益でしょう。

RECOMMEND 05

岡田 順太(法律学科教授)共編著『教養憲法』
弘文堂 2024年12月 2800円



法学部生のみならず、一般教養科目として日本国憲法を学ぶ人をはじめとしたあらゆる人が市民・主権者として求められる憲法の素養を獲得できるよう、歴史や社会、他分野とのつながりを大切に、既存の憲法テキストでは必ずしも重視されなかった知識や話題にもフォーカス。入門者から中・上級者までニーズに応じた学習が可能な、(教養としての憲法)の決定版です。

RECOMMEND 09

山田 洋(法律学科非常勤講師)著
『気候変動期の行政法』
信山社 2024年11月 6800円



気候変動に対応するインフラ法制とそれに対する訴訟、再生エネルギーのエネルギー転換と気候変動対策、気候変動による水害を防御する法制度など、気候変動に対する国家・行政の在り方と行政法の役割、社会的な関心が高まる重要テーマを考察。

RECOMMEND 13

川崎 聡史(ドイツ語学科専任講師)著
『「1968年」以後のポスト革命的運動—西ドイツ青年によるローカルな挑戦—』
春風社 2025年1月 5900円



1960年代以降、日本と同じく西ドイツでも学生運動と市民運動が盛り上がりしました。こうした運動は、その後の社会にどう影響したのでしょうか?一次史料を丹念に読み解き、若者がローカルな空間で試みた変革の歴史的意義について考えます。

RECOMMEND 17

北野 収(交流文化学科教授)共編著
『[新装版]人新世の開発原論—農学原論—』
創成社 2024年12月 2500円



本書は、アフリカ(モザンビーク、タンザニア)、アジア(ネパール、日本)、北米(カナダ、アメリカ)、西欧(フランス、イタリア、イギリス)、ラテンアメリカ(メキシコ、中南米一般)での経験を読ましながら、21世紀の農本主義を考えるための一助となるような書を目指すもの。食・農・環境・開発に関心を有する一般読者にもお勧めしたい1冊。

RECOMMEND 02

伊豆田 俊輔(ドイツ語学科准教授)訳
(シュテファン・クロイツベルガー著)
『ドイツ＝ロシアの世紀 1900-2022 上』
白水社 2025年1月 4500円



独露関係史の第一人者による「新しい世界史」。世紀にまたがる革命と戦争、交流と隔絶の歴史。最新の研究成果と物語性を兼ね備え、現代の喫緊の諸課題にも示唆に富んだ歴史書。NDR(北ドイツ放送)が選ぶノンフィクション書籍賞最終候補作品。

RECOMMEND 06

原 成吉(名誉教授)分担執筆
『アメリカン・ボエジーの水脈』
小島遊書房 2025年1月 4500円



本書は「詩」、「詩人」、あるいは「詩的想像力」をキーワードに「詩なるもの(ボエジー)」とは何かを探る試論20編を収録したものの。「詩」と「言葉」のコラージュを通して、作家たちの詩的想像力の源泉を辿ります。

RECOMMEND 10

山崎 尚(経営学科准教授)共著
『財務会計』
中央経済社 2025年2月 4500円



2000年を境に日本の会計基準は個別財務諸表主体から連結財務諸表主体の基準へと大きく変貌を遂げました。本書は連結ベースの日本の会計基準を体系的に詳解しています。

RECOMMEND 14

大藤 紀子(国際関係法学専任講師)、矢羽々 崇(ドイツ語学科教授)分担執筆
『EU百科事典』
丸善出版 2024年12月 22000円



戦乱と対立を繰り返してきた「ヨーロッパ」という地域の統合の試みとして生まれたヨーロッパ連合(EU)。欧州統合の取り組みをEU研究の主要三分野たる法律・経済・政治社会に加え、それを支える広範な市民意識や文化・芸術・音楽・宗教・アイデンティティなど、様々な側面から探求する事典。

RECOMMEND 18

井上 周平(ドイツ語学科非常勤講師)分担執筆
『西洋中世文化事典』
丸善出版 2024年11月 24000円



5～15世紀頃のヨーロッパ世界を指す「西洋中世」。本事典では歴史、商業、衣食住、信仰、文学、美術、建築、哲学、ジェンダー研究、後世での受容までも含め解説。また、西欧に限らず、北欧や東欧、中欧、十字軍国家が建設された中東、イスラム圏までを広げ、周辺海域やアフロ・ユーラシア世界も視野に収める地域横断的な内容となっています。

父母の会助成 キャンパスメンバーズ&大学パートナーシップ

芸術・文化に触れよう! ——文化施設利用制度のご案内

学生証の提示で美術館・博物館等への入場が無料(割引)になります。



東京国立近代美術館
1952年に開設された日本初の国立美術館で、絵画・彫刻・水彩・素描・版画・写真など、さまざまな作品を所蔵している。
🚶 東京メトロ東西線 竹橋駅下車



国立科学博物館
日本で唯一の国立の科学博物館であり、展示されているものの他に収蔵品の数は485万点を超える。
🚶 JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車



彩の国さいたま芸術劇場
1994年オープン。の劇場。シェイクスピア全37作品を上演した「彩の国シェイクスピア・シリーズ」をはじめ、質の高い演劇、舞踊、音楽公演を実施している。
🚶 JR埼京線 与野本町駅(西口)下車

その他、下記施設でも制度が適用されます。

- ▶国立科学博物館 附属自然教育園 ▶筑波実験植物園 ▶国立劇場(閉場中) ▶国立工芸館(石川県金沢市) ▶国立西洋美術館
 - ▶国立新美術館 ▶国立映画アーカイブ ▶江戸東京博物館(休館中) ▶東京都美術館 ▶東京都現代美術館 ▶東京都写真美術館
 - ▶東京都庭園美術館 ▶東京芸術劇場 ▶東京文化会館 ▶埼玉会館
- ※特典内容、開館時間、休館日等詳細は、各施設公式ホームページをご確認ください。

制度の詳細については大学ホームページをご確認ください。
(大学HP美術館・博物館等の利用特典制度)



ぶ-ら-り-ら-い-ぶ-ら-り

Vol.114

大学生活の中心、図書館へ行こう!

新年度がスタートし1か月が経ちました。皆さん、図書館をもう利用しましたか?

図書館では資料の利用提供以外でも、皆さんの学修をサポートしています。大学生活の中心となる図書館に行ってみよう!

STEP 01 入館・退館

出入口は、1～3階の各階にあります。ゲートに学生証をかざして入館します。

※1・3階は開館時間、2階は授業期間の平日10:00～17:30



STEP 02 資料の配置

100万冊を超える資料を所蔵しています。同じテーマの図書・雑誌・参考図書は、すべて同じ階に揃っているので、特定分野の資料を探しやすいのが特長。

資料は自動書庫にもあります。

3階	芸術、言語、語学、文学
2階	社会科学、自然科学、工学、産業
1階	総記、哲学、歴史

STEP 03 貸出・返却

本と学生証を持って、メインカウンター(1階)または3Fカウンターで手続きを行ってください。1階には、学生証をタッチしてセルフで貸出できる「自動貸出機」もあります(返却は不可)。自動貸出機の使い方が分からない場合はカウンタースタッフにお尋ねください。

区分	貸出冊数	貸出期間
学部学生	20冊	14日 (図書・雑誌共通)
大学院生	30冊	図書:30日 雑誌:14日

STEP 04 資料相談

資料探しなどで困った時は、レファレンスカウンター(1・2階)で相談してみよう。レポート・論文の書き方や、データベースの使い方などの質問も受け付けています。オンラインでも質問できます。



図書館 X



STEP 05 閲覧席

個人利用にもグループ利用にも対応した、多種多様な閲覧席を用意しています。学修スタイルに合わせて、利用してください。



(左)中庭が見える窓際は開放感があります
(右)プレゼンにぴったりの部屋も

★図書館学生サポーター「BiVS(ビボス)」

さまざまな学部・学年のメンバーが集まって、活動内容を企画し、図書の展示企画などの活動をしています。現在、新メンバーを募集中!一緒に活動してみませんか?

BiVS
XBiVS
Instagram